

わかくさ保育園の誕生とあいりん地域の児童対策の歴史について

【日時】 令和6年1月20日(土) 午後2時～4時

大阪市西成区のあいりん地域にある『わかくさ保育園』は、社会福祉法人石井記念愛染園の施設の一方で、昭和45年(1970)に誕生しました。創立者は、児童福祉事業に一身を捧げ、「児童福祉の父」と呼ばれている石井十次の意思を受け継いだ大原孫三郎です。

本講座では、『わかくさ保育園』の創設期から見た、あいりん地域の児童の実態と児童相談の変化、また、『わかくさ保育園』の実践やあいりん子ども研究会の調査結果が生み出した行政主導から民間との協働という児童福祉対策の転換の歴史と現在、実践されている公私協働のネットワーク(要保護児童対策地域協議会のルーツとなったあいりん子ども連絡会・わが町にしなり子育てネットなど)による児童対策について学びます。

また、わかくさ保育園の活動を通して触れたあいりん地域の子どもの実態と、現場職員の声から始まった『あおぞら保育』の誕生について学びます。



本研修は、感染症対策を講じたうえで実施する予定です。詳しくはホームページにてご確認ください。



わかくさ保育園



あおぞら保育

【講師】社会福祉法人 石井記念愛染園 大国保育園 園長 西野 伸一 氏

1973年大阪府生まれ。保育士。社会福祉法人石井記念愛染園「愛染橋保育園・児童館」「今池こどもの家」「わかくさ保育園」を経て現職。

【会場・問合せ先】

大阪市社会福祉研修・情報センター 4階 会議室
住所：〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20
電話：06-4392-8201

【定員】40人(先着順)

【対象者】

大阪市内在住・在学・在勤であればどなたでも参加可能

【申込方法】

申込欄に記入のうえ、ホームページ・FAX・郵送・持参・電話で受付

【申込締切】

1月10日(水) 午後5時必着 ※定員に達し次第締切

社会福祉法人石井記念愛染園について

日本の福祉事業の先駆者である石井十次が信仰したキリスト教主義の「隣人愛」の精神を理念とし、3つの事業を行っています。医療事業では、地域の基幹病院としてだけではなく、広く近畿圏における総合周産期母子医療センターとしても重要な役割を果たす附属愛染橋病院の運営、4つの保育園運営を中心とした隣保事業、特別養護老人ホームなどの運営による介護事業を通して社会貢献を行っています。

「わかくさ保育園の誕生とあいりん地域の児童対策の歴史について」 FAX:06-4392-8272

(ふりがな)		年齢	歳
名前		職業	
住所	〒 —		
連絡先	携帯・自宅		
ご要望	車いす使用の方、手話通訳、拡大文字資料などが必要な方は、その旨ご記入ください。		

※提供していただきました個人情報につきましては、名簿の作成、資料の送付等研修事業の運営のためにのみ使用し、他の目的で使用したり、第三者へ提供することはありません